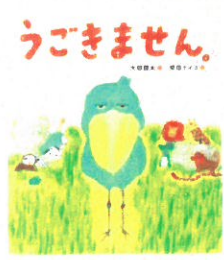




2022年度  
Vol.2

# 絵本同好会だより

## おすすめ絵本の紹介



うごきません 柴田 ケイコ  
・大塚 健太

ハシビロコウです。とりです。友達か来ても、鼻がバツトの  
ゾウか来ても、立ってまじ——と、うごきません！  
うごきはいいけど、おいしいとか怖いとか楽しいとかあんと思っ  
ているんです。

(つき ・ おどり)  
やみ  
(ましろ)

おいそうなしろくま 柴田 ケイコ



しろくまが、色々な食べ物の中に現れ  
て、親子で笑ってしまいました。糸会で楽しめ  
る、ほのぼのとした1冊です。

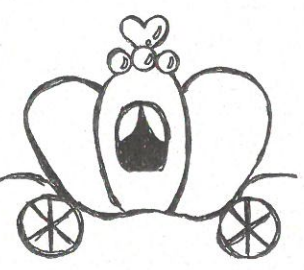
(つき ・ 岩下)

[シンデレラ]  
文・絵 安野光雅 「ドレミファランド」復刊



1974年に刊行された童謡絵本シリーズ「ドレミファランド」の中から  
ミュージカルのお話を抜粋し、1冊にまとめた復刊シンデレラです。  
(おすすめ) シンデレラを見守るように、見開き全てのページに魔女が隠れています。  
探すのがとても楽しいようです。(娘たち)

安野光雅さんの独特の世界観のあるシンデレラ  
王道のお話ですが、子どもの記憶に残る (かせ 年長 久保)  
絵とお話の絵本だと思います。



きょうりゅうたちのあやすみなさい ジェイン・ヨーリン文 マーク・ティグ絵



リアルで大きいきょうりゅうが、まるで5さいの子どものようにあはれたりわがまましたりします。でも、きょうりゅうたちは本当はちゃんとわがまません。どんなふうにもベッドへ行ってあやすみなさいでするのかを...。絵がインパクトがあるけど、きょうりゅうの子どものらしい振る舞いを見てると、どうしても「カワイイ」と思っちゃいます♡ (ほし・秋生)

(そらまねくんのまいにちはたからもの) なぎやみわ



なぎやみわ先生の季節感あふれる背景画とキャラクターたちの愛らしい表情は子供たちもきっと夢中になれる絵本本であろ (ほし・大高)

優菜

ゆうこのキャバツぼうし やまわきゆりにエッセ



山脇ユリコの絵本はどれも本当に優しい。'ゆうこのキャバツぼうし'もとても短い時間のファンタジーらしい作品だが、この作品もまたキャバツの葉を1枚頭に被ることをきっかけに、動物達とふれ合い、山脇ユリコらしく、最後は美味しい食事でおわる。ほのりあるお話。 (いじ・菊池)

ねことことり 作・たてのひろし 絵・なかの真実



絵本が可愛いなあ〜。と借りてきた絵本です。絵の美しさに見惚れ、内容も優しくて、読んでいくと心がほわほわする絵本です。 (いじ・澤入)

富士山にのぼる・石川直樹



冒険家石川直樹さんの写真絵本。美しい写真と共に、自然の荘厳さ、カサネ、崖、雪、薄くも美しい一面、四季折々の富士の鬼木のつぼみに本です。日本一の山富士山にお子さんと一緒に触れてみて下さい。 (いじ中・澤入) 2

マスクをとったら・いりやまさとし



まさに「今」の本です。いろいろな動物が出てきて  
マスクをとったら、やりたいことがいっぱい。  
子どもたちの願いと重なる素敵な絵本です。

(かせ・箱田)

いろとりどり マーカス・ファスター作 谷川俊太郎訳



退屈な毎日に飽き飽きしているカラス達。そこに1匹のいろとりどりが現れた。  
いろとりどりと一緒に歌ったりおどったりして退屈をつくらせていたのは自分達だ。たと  
え付くカラス達。自分のやる気や気持ち次第で何でもない。毎日も素敵な1日に  
思えたり、楽しもうとする気持ちが大事だよなあとあらためて思えた1冊でした。  
(にじ・渡部)

サタクロースってほんとにいるの? てるおかいこ:文  
すまうりほんも:絵



最初は子どもがお父さんにサタクロースの疑問を投げかけます。その一  
つの質問にお父さん、お母さんが答えていく。とても素敵な絵本  
です。是非クリスマス前に読んであげたい一冊です。

(にじ・友部)

ルドルフとイッパイアッテナ 斎藤洋作・杉浦範茂絵

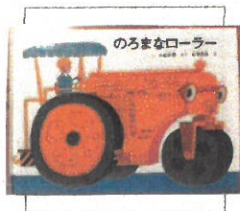


こちらも、小学生のころに大スキだった本です。大人になって  
から続編を自分で買って、子どもといっしょに読んでいます。  
のらねこになったルドルフがイッパイアッテナに出会って、  
どんどんたくましくなっていく姿に感動(にじ・小本)  
します。お子さんが小学生になったらぜひ読んでほしいです♡

えんそく 二かいぞめふないぞめ 末吉暎子作 和歌山静子絵



私が小学生だったころに何度も読んだ大スキなお話です。  
主人公のみろこはミミの姉が妹が面白くて、ちょっぴりこわくて  
ゆかいなストーリーに引き込まれます。シリーズで、「かいじゅうに  
なつた女の子」や「でしゃばりおばけのおぼろさん」(にじ・小本)  
もあります。



「働く車」が大好きな息子のお気に入りの一冊です。ゆっくりと道を  
均しながら進むローラーくんを、スピードの速い車たちがバカにしながら追い越して  
行き去る。しかしその後々の車たちは…。自分のペースを乱さずババ優しいローラーくん。  
最後は気持ち良く終わります。山本忠敬さんのレトロな絵も素敵です。  
(にじ・須田)

ねえさんといもうと



ねえさんといもうと

酒井駒子さんのイラストが好きで、我家にも  
姉妹がいたので、母の想いで買った本です。  
思ひやりのある姉妹のやりとりのお話ですが、我家の  
姉妹には伝わったのか…??でした。(にじ・井上)



はしれきおんしや ちからあし

蒸気機関車 ちからあしが、戦争で仲間の機関車  
はやあしと別れてしまうが、その怒りと悲しみをこえて、戦後に  
活躍するお話。息子が図書館で何度も読んで読みかかせて  
読ませました。(にじ・井上)



ひもはちょうもつかわなひ平野レミのおりょうりブック・和田唱・和田幸え

お手伝いしていい! お料理していい! でも色々心配。でも、このレシピなら、  
ひとりでするから大丈夫! 子どもが女子好きで、借り好きで、  
とうとう本を買いました。それから、我が家の朝ごはんの定番のひとつは、  
「ごまごはん」になりました。栄養満点! かぜ・富田

玄米雑穀  
にも  
あります!

わごむまつり・つきおかゆみこ



わごむを本に置いたり、投げたり、飛ばしたり…。  
射的・焼きそば、金魚すくいもできます。「僕はわごむに無限の  
可能性を感じる(小2・長男)かどうかは分かりませんが、  
わごむをたくさん用意してから読んでください。(かぜ・富田)



くまの子ウーフ・神沢利子 作・井上洋介 絵

3冊くらいシリーズありますが、こちらが一番おすすめですよ  
子どもの頃読まなからに私は「ウーフはおしっこでできてるか??」  
(糸居芝居もあり)で、ウーフの素直さとその発想にハマってしまいました。  
もちろん子どもも大好きになりました。(かぜ・富田)



あなのはなし ミラノマラーワック 間崎ルリ子やく 二見正直えあな

靴下にあいた小さな穴。誰にも繕ってもらえないから旅にでることにしました。  
童話の赤ずきんちゃんを思わせぬような、不思議で不気味な  
穴あき絵本です。

(かせ年中・吉井)



しんごうまうだいのにちようび もとやす けいじ

信号機にハマっている息子が好きでよく読んでいた絵本です。  
信号下らの楽しみは週に一度の歩行者天国の日、歩行者用信号機の中てんぷつに  
なっているのかな... 思わず「あ疲れ様です!」と声をかけたりします。

(かせ年中・吉井)



きいろいのほ ちょうちん / 五味太郎

私が幼少期 好きだった絵本。

「次何だけ?の」「あ! 歳になた!!」

親子で楽しめる一冊です。

(かせ・近澤)



じぶんだけのいろ / レオ・レオニ、訳 谷川 俊太郎

自分色(固定の)が欲しいカメレオンのお話。

**色 = 個性** に置き換えると...

「そのままのあなたが一番いい!」というメッセージが  
聞こえてきそうです。

(かせ・近澤)



バムとケロのそらのたむし 島田ゆか

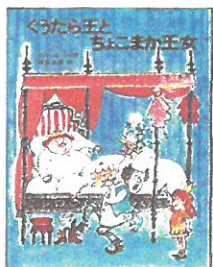
今年の冬休みに図書館で初めてこのシリーズを借りてから、  
親子で大好きにTERT本です!! とにかく登場する子TERTの  
かわい!! バムとケロのあつちも素敵で、こんなあつちに住みたい  
ねと言いつつから、絵をじっくり見てしまう絵本です(かせ・橋本)



バムとケロのそらのたむし 島田ゆか

バムとケロが手作り飛行機でバムのおじいちゃんの家をめぐすお話です。途中、「きゅうけつニヨモリ」から逃げて  
ために、バムがケロの顔をまく場面が、息子のあつちに入り  
です!! 小TERT存続の様子も見つくと  
おもしろいです!! (かせ・橋本)





「ぐらら王とちよこまか王女・ミラローハ」 

私が子供時代に好きだった本は、図書館で再会できました。(絵と読みやすいので題名だけじゃなく？と考えて)人間にとって大切なことって何か？一番いいことって何か？見えない矢印される物語も、もちろんお話を面白くして、読みやすいです。ぐらら王の物語も面白くてかっこいい。

(1-11 小石田月子)

本年度も、絵本同好会にご協力いただき、ありがとうございました。  
おかげさまで、おすすめ絵本紹介会は、3年目、7回目となり、総数は200冊を超えました。

今年度のアンケートで、探しやすいようにテーマ別にまとめてみては？との声があったことを受け、年度別にまとめてみました。  
テーマ分けは難しいものもあり、そのときは温かい目で見て頂ければと思います(笑)

過去紹介された本も、改めて目を通すと読みたいものばかり。  
本はいつ読んでも色褪せず、その時々で違った面白さを発見します。

紹介会の本は、同じ幼稚園で時を過ごした子やママの、色んな興味や共感で溢れています。  
図書館や本屋さんへ行くときや、お時間のある時に、ご興味のあるテーマの題名だけでもぜひ、読んでいただけたらと思います。

一冊でも、素敵な出会いがありますように。

